第６6回関東医歯薬大学ラグビーリーグを終えて

関東医歯薬ラグビーリーグ連盟

書記長 長谷川雅一

　今シーズンも重傷事故なく無事にシーズンを終えることが出来ました。中村主管長はじめレフリー各位、関係各位には心より感謝申しあげます。

1部リーグは筑波大学４連覇で幕を閉じましたが実力は接近しており他チームの来シーズンの巻き返しに期待しております。

今シーズンは勝ち点の変更、棄権試合があっても最後まで試合が実施できる取り組みにしました。また混成チームが４チームに増え、無理な試合運営が減少した影響か棄権試合は１試合もございませんでした。一方で、部員不足は今後連盟として重要課題として検討していかねばなりません。引き続き各チームの勧誘努力をお願い申し上げます。

 シーズンの反省として、グランド変更やKO時間の変更などシーズンに入ってからの変更がいくつかあり、該当校やレフリーの方々には大変ご迷惑をおかけしました。来シーズンは修正できるよう努力いたします。

　医歯薬リーグは、学生が主体となって考え、伝統と規律を重んじ活動する場と考えます。今後さらに学生と意見交換しながらより魅力のある医歯薬リーグとなるよう来シーズンも頑張っていきましょう。

また2019年は、いよいよ待ちに待ったRWCが開催されます。ラグビーファミリーとして、我々も試合会場へ足を運んだり、ボランティア活動などを通して盛り上げていきましょう。